

西武新宿線連続立体交差化実現による踏切渋滞解消に関する決議

西武新宿線沿線の新井薬師前、沼袋、野方、都立家政、鷲ノ宮の各駅周辺は、都心に近く利便性の高い地域として、今後の発展が期待されている。

しかしながら、この地域の多くの踏切がいわゆる「開かずの踏切」のため、慢性的な交通渋滞や踏切事故の危険性、小中学校の通学路の分断など切実な問題を抱えており、地域の健全な活動や発展を妨げている。

そこで、地域の健全な活動の支障となる「開かずの踏切」の早期解消を図るため、中野区民が一体となって、力を集結し、関係機関に対して必要な措置を講ずるよう要請するなど、連続立体交差事業による「開かずの踏切」の解消促進に取り組んでいるところである。

また、連続立体交差事業を契機とした沿線のまちづくりは、地域の発展に大きく寄与するものである。既に事業化されている中井・野方駅間は、中野区民及び中野区が一丸となってまちづくりに取り組んでおり、新たな飛躍への千載一遇のチャンスでもある。

一方で、野方・井荻駅間については、連続立体交差事業の早期実現の見通しが未だに立っていない状況である。この区間の沿線のまちづくりは、区民による検討が行われたこともあり、中井・野方駅間と切れ目ない連続立体交差化の推進を求める区民の声はますます高くなってきている。

今後とも中野区民は、「開かずの踏切」の一日も早い解消と、よりよいまちづくりのため、更なる活動を推進するとともに、次の事項について関係機関に強力に働きかけを行うものとする。

- 一、西武新宿線（中井～野方駅間）の連続立体交差事業の着実な推進を図ること。
- 一、西武新宿線（野方～井荻駅間）の連続立体交差事業の早期実現を図ること。
- 一、連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業に関し、将来に亘り、安定した財源を確保し、事業に必要な国費を確保すること。

右、決議する。

平成二十七年八月二十五日

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会